

2015.7.25

公開セミナー「子どもの貧困／不利／困難を考える」

児童養護施設退所者の 不利、困難、貧困を克服する手立て

堺市こころの健康センター
非常勤職員 宮田暢子

本日の報告の流れ

1. 児童養護施設と入所児等の特徴
2. 退所者の不利、困難、貧困
3. 退所者の不利、困難、貧困を克服する手立て
—施設職員へのインタビュー調査結果から—
4. まとめ
5. 今後の課題

児童養護施設と入所児等の特徴(1)

- ・施設数:595ヶ所 (2013年10月1日現在)
- ・入所児童数:29,979人 (2013年2月1日現在)
- ・養護問題発生理由(入所理由):
 - 「父又は母の虐待・酷使」18.1%
 - 「父又は母の放任・怠だ」14.7%等
- ・入所児童の特徴:
 - ・保護者の状況:
 - 両親又はひとり親81.7% 両親ともいない16.0%
 - ・平均入所期間:4.9年 (ただし在所期間の児童 1年未満が最多)
 - ・被虐待経験がある児童 59.5%
 - ・なんらかの障害がある児童 28.5%

(厚生労働省 2015年 「児童養護施設入所児童等調査の結果(平成25年2月1日現在)」ほか)

児童養護施設と入所児等の特徴(2)

- 高等教育への進学率 (2013年5月1日現在)

高等学校 94.8% 全国平均 98.4%

専修学校 10.3% 全国平均 23.7%

大学等 12.3% 全国平均 53.2%

(出所 厚生労働省2015年「社会的養護の現況に関する調査」)

- 児童養護施設等退所者の収入状況(2010年12月～2013年1月現在)

月収、手取り額	人数割合
5万円未満	4.1%
5～10万円未満	14.4%
10～15万円未満	27.3%
15～20万円未満	31.8%
20～25万円未満	13.3%
25万円以上	9.1%

(出所 東京都福祉保健局 2011)

退所者の不利、困難、貧困

- ①低学歴からくる就労上のハンディ、②住宅困窮、
③経済的貧困、④虐待等のトラウマからくる人間関係構築の困難、⑤その他のさまざまな日常
(東京都福祉保健局 2011)
- 「機会の剥奪と隣り合わせ」といえる状況 (埋橋 近刊)

退所者へのアフターケアを行う上で 検討されるべき事柄とは？

- ・不利や困難の内容
- ・不利と困難はどのように形成され、退所者の生活にどのような『負』の影響を与えるのか
- ・どうすれば不利、困難、貧困を克服し、あるいはその連鎖を断ち切ることができるのか など

**「不利、困難、貧困を克服し、
その連鎖を断ち切る手立て」を検討**

調査の概要

対象：児童養護施設23施設の職員
(分析は22施設分のデータを使用)

期間：2013年5月～8月

調査方法：半構造化面接

倫理的配慮：同志社大学倫理審査委員会の承認

分析方法：内容分析法

分析結果

不利、困難、貧困を克服する手立て

<ul style="list-style-type: none">➤ 生きる、活動するための自尊心、自己肯定感、自己効力感➤ 主体性・自主性➤ 学力・学歴➤ ソーシャルスキル	個人がもつ「力」
<ul style="list-style-type: none">➤ 子どもが持っている力を高める環境➤ 退所者が安心して過ごせる生活環境	個人を取り巻く「環境」

不利、困難、貧困を克服するための 具体的な手立て—職員の語り—(1)

不利、困難、貧困を克服するための 具体的な手立て—職員の語り—(2)

不利、困難、貧困を克服するための 具体的な手立て—職員の語り—(3)

不利、困難、貧困を克服するための 具体的な手立て—職員の語り—(4)

退所者が不利、困難、貧困を克服するための具体的な手立て

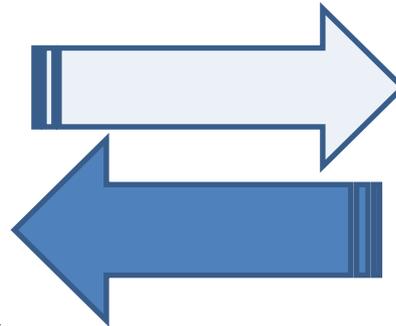
➤ 他者に頼ることができる

そのためには・・・

- ・退所者に他者に頼る**力**がある
- ・退所者が頼ることができる**人**がいる
- ・他者が退所者に**手**を差し伸べてくれる



不利や困難に遭遇した退所者



退所者が頼ることができる人

退所者が不利、困難、貧困を
克服するための具体的な手立て

⇒退所者が他者に頼ることが
できるようになる鍵は？

他者に頼ることができない 退所者の特徴—職員の語り—(1)

他者に頼ることができない 退所者の特徴—職員の語り—(2)

退所者が他者に頼ることが 可能になるには

- **子どもの自尊心、自己肯定感を高める**
- **愛着関係（基本的信頼感）を形成し、
人への信頼感をはぐくむ**

自尊心、自己肯定感や基本的信頼感を はぐくむ取り組み—職員の語り—(1)

自尊心、自己肯定感や基本的信頼感を はぐくむ取り組み—職員の語り—(2)

自尊心、自己肯定感や
基本的信頼感をはぐくむために

➤ 子どもの力を高める環境 を準備する

たとえば・・・

- ・コミュニケーションのスキルアップのための
子ども向けのプログラムの活用
- ・生い立ちの整理

など

本報告のまとめ

退所者の不利、困難、貧困を克服する手立て

➤ 個人がもつ「力」

➤ 個人を取り巻く「環境」

- 子どもが持っている力を高める環境
- 退所者が安心して過ごせる生活環境

「力」と「環境」の両方が、連続した時間の中であることも大切

今後の課題

- 退所者の不利、困難、貧困を克服する手立て（要素）について、定量調査を通し、精緻化
- 退所者の不利、困難、貧困の克服に効果的な具体的手立て（実践）を探る
- 退所者の不利、困難、貧困を克服する手立ては、果たして不利、困難、貧困すべての手立てであったかの再考

【参考文献・参考資料】

- 埋橋孝文(近刊)「第1部 児童養護施設の子ども 概説」埋橋孝文・大塩まゆみ・居神浩編『子どもの貧困/不利/困難を考えるⅡ—社会的支援をめぐる政策的アプローチ』ミネルヴァ書房.
- 榎本博明(2010)「子どもの『自己肯定感』のもつ意味—自己肯定感の基盤の揺らぎを乗り越えるために」『児童心理』(64)4,1-10.
- 厚生労働省雇用均等・児童家庭局家庭福祉課(2015)「児童養護施設入所児童等調査の結果(平成25年2月1日現在)」.
- 厚生労働大臣官房統計情報部 人口動態・保健社会統計課社会統計室(2015)「平成25年社会福祉施設等調査」.
- 田中弘美(近刊)「第1部 児童養護施設の子ども 第1章 児童養護施設の子どもと自立支援」埋橋孝文・大塩まゆみ・居神浩編『子どもの貧困/不利/困難を考えるⅡ—社会的支援をめぐる政策的アプローチ』ミネルヴァ書房.
- 東京都福祉保健局(2011)「東京都における児童養護施設等退所者へのアンケート調査報告書」.
- 野崎秀正・石井眞治(2004)「抑制要因に基づく大学生の援助行動の分類」『広島大学大学院教育学研究紀要第1部』(53),49-54.

ご清聴ありがとうございました